めじる台に法政大学生

が開く 0~100歳対象

ファッション

イベント

9月30日[金]

12:00~20:00

めじろ台第一会館

たま多摩、「ここ」にいる

あなたとの繋がり

それはたまたま

あのことの繋がり

それもたまたま

聞いて、見て、感じて、触って、

もっと縮めていきたい

イベント内容

各体験 500 円

シルクスクリーン体験

・マーブリング工作体験

体験内容色であそぶカラフル工作体験持ち物汚れてもよい服装(特にお子さん)

・ネイル体験

体験内容 誰でも!気軽にジェルネイル! 持ち物 特になし

主催団体

Team fashion by ホーセーイノベーションクラブ (法政大学多摩地域交流センター登録学生団体)

協賛 めじろ台地区 まちづくり協議会

問い合わせ:

080-3204-0315

インスタグラム DM からも受け付け中▶





今ある「

」を超えていこう

お申し込みフォーム

*空きがある 体験にかぎり

予約がない 場合でも、 参加が 可能です。

学外イベント企画書

by team fashion of "hosei innovation club"

法政大学多摩キャンパスにいる学生のなりたい・したい・やってみたいのwantの気持ちを叶えるコミュニティ

現状課題

【めじろ台地域】



- ・音楽や読書、美術などの カルチャーに造詣を持つ 方が多い
- ブティックが多くあったり、大きなサイズのリサイクルショップがある
- ・現在ある課題を受け入れ 変革していこうという試み が強く見られる
- 古くから愛されているお店が多い
- めじろ台特有のローカルな繋がりがある



この地域でしか味わえないような魅力がある



イノベクラブを通して、世代と所属を超えた fashionの楽しみ方を普及させたい!

team fashionの活動と流れ

目的:ファッションが好きな学生が集える場所やきっかけを作る

理念:自分の好きと人の好きを自由に共有できる空間

学生が 多摩キャンパスや 地域に興味を持つ

1 古着交換会 【4.5月】



多摩キャンパス・地域に コミットしたくなる学生が増 える

2学外イベント 【6-9月】



多摩キャンパス・地域が 協力できる形になる

3ファッションショー 【9月-11月】



今回はこのイベントです!

どうしても「何もない」というマイナスなイメージを持たれやすい多摩。

しかし、あたたかい地域の方々や満ち溢れている自然など、実は魅力がたくさん。

そんな魅力たちを多摩キャンパスのみならず周辺地域を通して伝えるべく、

「**多様性」**をテーマに、学生が手がけるオリジナルの作品展示やファッションに関する体験会を実施する。

日時:9/30(金)

9/29(木) 18:00から リハーサル・下準備

場所:めじろ台周辺

時間:12:00~20:00

9:00 準備開始

対象:法政大学の学生・地域の人々

参加方法:無料(但しブースごとに体験料設定)

イベント内容

A映像の上映

- ー学内で集めた古着をスタイリング ー多摩キャンパスの自然をテーマに撮影

B マーブリングの体験

一絵の具を流し込むマーブリングの体験



C ネイルの体験会

ーネイルを用意し、 性別年齢に関わらず体験できるようなイベント



(先日地域の方や学生にネイルを体験してもらった時の様子)

D シルクスクリーン体験会

ーオリジナルのデザインを作成し、持ってきたもらった ものに擦れるような仕組み



E インスタレーション

一個人にたくさんの好きの表現をしてもらい、 私たちの手で一つのオブジェとして 目に見える形にする

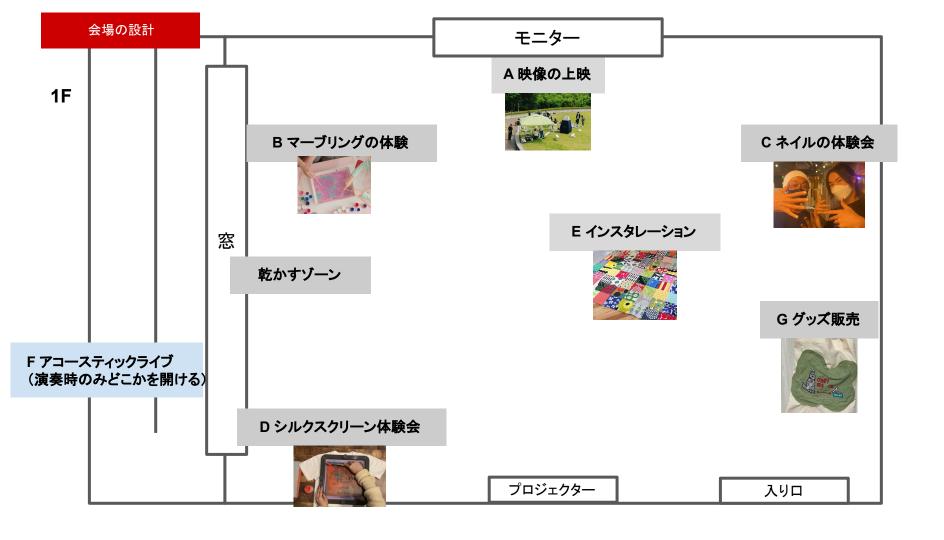


F アコースティックライブ

一音楽が好きな人たちが集まり各々の演奏



G グッズ販売 一自分の得意分野を持ち寄り製作、販売



法政大学のサークルがめじろ台を大きく活用して何かイベントを開催するという前例はないかと思います。

実際空き店舗も目立ち、学生にとってもめじろ台は単なる「経由駅」「通り道」にしか過ぎません。 多摩キャンパスと言えば、学生の中では田舎の立ち位置です。

しかし、都会の学生は味わうことができないような、この地域にしかない魅力がたくさんあります。

そこで私たちイノベクラブは、「もっと学生が楽しく! 誇りに思えるような場所に変えたい!」と、今回新たなイベントに挑戦を決めました。

めじろ台という法政大学の学生だと誰もが知っている場所を開催場所にすることで、学生に とってのイメージ、意識が大きく変わると信じています。

そして、本イベントが第一歩となって、めじろ台の町の方々との繋がりを築かせていただくことにより、今後より一層町を巻き込み、「学生と地域の人々」という世代と所属を超えた、更なる深い繋がりを実現させていきたいと思っております。